

会計名等	下水道事業会計				設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る				
決 算	事業収益(3条)①				R2決算額	R2最終予算額	増 減	事業費用(3条)②		
	1 営業収益				240,207,656	259,629,000	△ 19,421,344	1 営業費用		
	下水道使用料				239,582,398	259,244,000	△ 19,661,602	管渠費・ポンプ場費		
	2 営業外収益				616,816,746	620,071,000	△ 3,254,254	流域下水道維持管理費		
	他会計補助金				419,557,000	419,557,000	0	総係費		
	国庫補助金				650,000	1,000,000	△ 350,000	減価償却費		
	長期前受金戻入				181,709,005	181,708,000	1,005	2 営業外費用		
	資本費繰入収益				14,720,841	6,325,000	8,395,841	支払利息及び企業債取扱諸費		
	3 特別利益				15,708,640	10,510,000	5,198,640	3 特別損失・予備費		
	合 計				872,733,042	890,210,000	△ 17,476,958	合 計		
	資本的収入(4条)③				R2決算額	R2最終予算額 ※前年度繰越含む	増 減	資本的支出(4条)④		
	1 企業債				419,600,000	575,200,000	△ 155,600,000	1 建設改良費		
	2 負担金				28,145,369	15,672,000	12,473,369	公共下水道費		
	3 国庫補助金				33,247,320	31,397,320	1,850,000	流域下水道費		
	4 他会計補助金				98,269,000	98,269,000	0	2 企業債償還金		
合 計				579,261,689	720,538,320	△ 141,276,631	合 計			
				R2決算額	R2最終予算額	増 減	※上段(収益的収支)は税抜き額 下段(資本的収支)は税込み額			
収益的収支差引(純損益)①-②				6,267,855	△ 8,877,000	15,144,855				
資本的収支差引③-④				△ 299,620,341	△ 208,648,680	△ 90,971,661				
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <p>○収益的収支…新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊事業所等の大口使用者の使用水量が減少したことに伴い、年間有収水量が減少したものの、流域下水道維持管理負担金の減や令和元年度の下水道事業特別会計の打ち切り決算により、消費税還付金を本年度に受け入れたことに伴う特別利益が増となったことなどから、損益計算では6,268千円の純利益を計上することとなった。</p> <p>○資本的収支…令和元年度末において下水道施設整備は概成したものの、関連する舗装工事等を令和2年度に繰越して実施したこと等により、収支差引は、299,620千円の不足となった。</p>									
備考	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から公営企業会計を適用したことから、令和2年度決算額と最終予算額との比較とした。 事業費用(3条)2営業外費用の決算額については、特定収入(補助金等)をもってまかなわれた資本的支出に係る控除できなかった地方消費税等を含む。(予算経理なし) 令和2年度末起債残高:9,362,795,569円(対前年度比 △229,265千円) 資本的収支の不足額については、消費税調整額(13,847千円)、損益勘定留保資金(285,773千円)で補てんした。 									
担当部署	建設部 上下水道課 管理係				TEL	45-1635		特9		

